

平成28年4月24日

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援物資等の状況報告について（6号）

4月24日日曜日の報告をします。土日にも関わらず支援協力を頂きました。

天草整肢園・倉田さん、苓龍園・高岡さん、たまきな荘・岩井さん、慈久園・田中さん、堤さん、ありがとうございました。

今日は午前中に物資を送り出した後、熊本福祉工場・グループホームの施設長より貯水槽の破損で半壊のGHが水びたしとなり、断水せざるを得ないと連絡が入り、急ぎ水を届けました。

くまむた荘 第4次	←天草苓龍園・整肢園（愛隣館経由・島根県、佐賀県物資）
たちばな園 第4次	←たまきな荘・愛隣館（近畿地区、熊本県物資）
熊本福祉工場・GH 第2次	←慈久園・愛隣館（島根県、中四国物資）

【現状について】

- ① 日本リハビリテーション工学協会理事の方々、仙台市より吉田泰三さん、神戸市より赤澤康史さんが、久留米市の岩崎満男さんの案内で必要な支援の聴きとりと現状把握に訪問されました。高齢・障害の福祉避難所ご利用者の方々にも会われたところです。東北と阪神の震災で支援活動をされた経験から福祉避難所の様々な在り様について伺いました。一般の避難所の別室を福祉避難所として機能させる例（設備、備品とマンパワーを準備）、旅館を借り上げて、常時介護の必要な人々（一般避難所からすくい上げる形で）に対応した例（上記同様の準備）などです。福祉施設だけの受け入れは困難な規模の災害です。急ぎの対応がはかられることを願います。
- ② 本日、愛隣館の福祉避難所に2人の新規利用者を迎えました。同じ県住の階上に住む住民の方が当施設へつなぐお世話をしてくれたとのこと。また被災中に障害当事者の相談員にもつながり、迅速に入浴などのニーズに対応、励まされたと聞きました。地震後、食欲も無かったそうですが、ゆっくり夕食をとられました。体力の回復を支えています。
- ③ 前述の熊本市内グループホームにいる15人の利用者の方々の入浴支援を、日野会長と相談し、福岡県等の送迎協力を得て26日火曜日に行う計画が立ちました。山鹿のニューグランドホテルを利用します。そのホテルは、熊本市・新地団地の体の弱い高齢者にもこれまで2回送迎付きお風呂サービス（無料）を行なっていました。山鹿の旅館が同様のサービスを続けていると知り、嬉しい限りです。

- ④ 阿蘇のちばな園も、数日前電気は復旧したものの断水は続いているとのこと。近くの旅館の温泉を交替で利用しているものの入浴が課題と伺いました。

6万人を超える人々が避難しています。感染症も出ています。避難してきた方々に向き合おうと本当に心身ともに憔悴しておられます。被災された障害・高齢者の方々の体力は限界に近いのではないかと感じます。手の届くところから1人ずつでも支え続けたいと願うばかりです。

障害者支援施設愛隣館

TEL：0968-43-2771

FAX：0968-43-2793

三浦携帯：090-3199-7125